

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	1/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

1. 開会【企画財政部次長による開会】

省略（1. 開会については、別ファイルにまとめています）

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

省略（2. 市長あいさつについては、別ファイルにまとめています）

3. 基本構想素案及び都市マスタープラン改定計画案の説明

(1) 基本構想素案の概要説明

省略（3. 基本構想素案及び都市マスタープラン改定計画案の説明については、別ファイルにまとめています）

(2) 都市計画マスタープラン改定計画案の説明

省略（3. 基本構想素案及び都市マスタープラン改定計画案の説明については、別ファイルにまとめています）

4. 質疑

【司会】

ありがとうございました。説明が終わりましたので質疑の時間に入りたいと思います。本来でしたら、本日まで出席の皆様方一人一人からご意見を数多く頂きたいと思っておりますけれども、会場の都合上、またこのあと座間市長より皆様からご意見いただきたい内容につきまして、総括的なまとめをさせていただきたいと思っておりますので、目安と致しまして8時半前後ということで進めさせていただきたいと思っております。ご質問のある方は挙手をお願いしまして、マイクをお持ちしますので、ご発言をよろしくお願いたいと思っております。

【質問者】

〇〇と申します。安心して住む事が出来るまちづくりという観点からひとつ発言をさせていただいて、見解と対応を頂けたらと思っております。実は、今日はキャンプ座間でおきた出来事です。今日の早朝、キャンプ座間で、はっきりした事は判りませんが、どうも戦闘訓練が行われたらしい、というようなことを近くの人から聞きました。それで具体的には、何か自動小銃をかまえて撃て、というような姿勢をとる米軍の兵士がいたというようなことが入っています。本当にフェンス越しに目と鼻の先でこういう事がおきたということで、それを目撃した人は大変不安になったというような事を聞いたところです。それでキャンプ座間のフェンス沿いを、小学校の通学路にもあたっています。ですので、もちろん富士山公園の南

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	2/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

側に民家もあります。そしてまた通学路にもなっているというような事で、こういうような事はやっぱりあってはいけない事だと私は思っているところです。一昨年ですか、さらに総合補給廠ではフェンス越しに道路を歩いていた主婦に米軍兵士が銃口を向けたというような事で、大変大きな問題になったところです。ですから、こういうことが起きないように。

また、私が、夕方、現地に見に行ったところですけども、その時には何かフェンスの改修工事をするということで大きな鉄板が張り巡らされていましたが、現在はそういう目隠し状態になっているわけですけども、いずれフェンスの改修工事が終わると、やはりそういった訓練の様子が目撃されると、不安感を与えるということになると考えられますので、この点について、ひとつ宜しくお願いをしたいという事で。以上です。

【司会】

〇〇様からキャンプ座間の敷地内の関係で、このようなご質問がありました。これに関しまして回答よろしくお願います。

【市役所】(今福秘書室長)

秘書室長の今福と申します。よろしくお願いいたします。私、基地の方の担当をさせていただいております。今のお話、私共の方に、通報といいますか、お電話頂きましたので、早速私共の担当の者を現地に行かせ、その方からご事情をお伺いして、それでその事実を米軍の方に確認に行っております。

その結果ですけども、まず銃というものですが、訓練につきましては、毎週木曜日は定期的に訓練を行っている、ただ、場所については、同じ場所かどうかというのは基地の中であるため一定ではないという事ですが、その訓練で様子を見られたと思われま。

もうひとつ、その訓練の際の銃ですけども、これはあくまでもモデルの模擬銃(プラスチック)で斜面を撃っていると、ということで確認しております。

そして、フェンスの改修、これはフェンスの老朽化にもなって改修をするために、フェンスの代わりにそういう目隠しといったものをしてい。そういったことをキャンプの渉外部に確認をいたしております。

それで、そういった事を見られ不安感があるというお話しでしたのですが、その事も渉外部の方に伝えまして、そういった不安感の無いようなかたちで、いくら基地の中とはいえ、訓練については配慮をお願いしたいという申し入れをしております。

そして、問い合わせた方に内容をお知らせして、ご理解を頂いております。

【質問者】

いや、今の今福さんの、プラスチックだったということは、これ私、にわかには信じ難い。今福さんにお願があるのですが、米軍司令部へ行って、そのプラスチックの銃を確認して写真撮ってきて下さい。アフガンやイラク行くような兵隊が、プラスチックの銃で人を撃つ訓練をするとは、私は思えません。ちょっと確認して下さい、今福さん。それで写真も撮ってき

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	3/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

て。重大問題ですから。

【市役所】(今福秘書室長)

はい、それは今担当の方で確認して…それは、そういうことであれば…。

【質問者】

とてもね、プラスチックだなんて考えられない。子供の遊びじゃないから。

【市役所】(今福秘書室長)

いや、それはあくまで訓練ですから、そういう覚悟でやっていたと。

【質問者】

確認して下さい。

【市役所】(今福秘書室長)

その訓練については、そういった銃でやっていたと。ですから、当然違う物で訓練するという事はありますよ。ですから、その訓練については、そういうことをやっていたということなんです。

【質問者】

ちょっと銃を確かめてきて下さい。司令部へ行って。それは、市民にプラスチックでやっているなんて。米軍けっこう嘘言うから。これは厳重に監視しないとイケませんよ。今〇〇さんが言われたとおり、現に相模補給廠が重大問題になって、新聞に書かれたわけだから。そして、沖縄でも米軍は事故起こして逃げて帰っちゃったと、今日も新聞に載っているんです。米軍っていうのは、そういう事をやっていますから。プラスチックで、これは現物を調べて写真撮ってきて下さい。プラスチックでやっているなどと、子供の遊びではないので。アフガン・イラクも行っているわけだから。最近はタイまで司令部やっているわけだから、訓練。プラスチックでやっているなんて、とても考えられない。よろしくひとつ。しかるべきご返事を。

【司会】

はい、ではお願いいたします。

【質問者】

新田宿の〇〇です。この総合計画ということですから、かなり全体像、中身的には抽象的な面がありますけれども、そこより具体的な各論に入っている説明書きがあるものですから、それはそれで結構なことだと。全体的には、私判りませんが、かなり整理されてきているのかなという感じは持ちました。

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	4/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

それで、次に申し上げておきたいことは、何年か前、西部地区開発といったものがありました。こういう総合計画とか、10年先を睨んだものとなってくると、途中で色々な変化することが当然あり得るわけです。当初考えていた考え方が、計画が、変化してくる、場合によってはできなくなってくる、こういうような事は当然あり得ることですので、大事なことは、そういう経過を、場合によっては、できないといことを、きちんと市民に周知徹底するというのを、当たり前のことですが、お願いしたいと思います。ということは、今言いました西部開発、私も途中で気にかかりまして、ちょっと調べてみましたが、いったいどうなっているのかなというような事がありますから、そういうことっていうのは結局市民に対して不信感といったものが起こっている、したがってきちんと説明さえすれば、そうかとなると思います。だからそういう事を含めて、まず、こういうような総合計画を作りあげていく、それを実行していく結果のなかでは、それなりに経過をちゃんと話す、もちろん出来ているもの出来ないもの、そういう事に対して、ひとつお願いをしたいと思います。

もうひとつは、成長戦略という面で、先ほどの資料を見ますと、市民税とか義務的経費ですか、こういうようなプログラムは先行き心配です。そうすると、座間市の財政とはどういう具合に財政基盤強化ということに触れているのだけれども、何をどうする事によってその財政基盤を強化していくのか。そういう点では、成長戦略と言いましょうか、農業、商業、工業、こういうものの具体的な、本当に戦略にたつて座間市の財政基盤というものを確立していくことについて、先ほどの説明を聞いておきますと、ちょっと不安だということがありますので、これからは相当な力点を入れて頂きたいと思います。

それからもうひとつ、都市の、特に都市基盤の交通の、道路の問題ですが、実は昨日までに交通総合計画の、市民から昨日までに意見を出してという話もありまして、私もちょっと関心がありましたから書いてみましたが、結論的には出すのをやめました。それはそれとしまして、ここ私30年くらい新田宿に住んでいますが、これを過日申し上げましたが、やはり一番大事な幹線道路ですね、東西南北の幹線道路というものについて、それなりに計画練ってきているはずですが、それがもちろん土地の買収などの色々な問題があるでしょう、結局どうなっているのかなと。また新しく、この総合計画の中でも触れているけれども、これはやりとげるといふ基本的なものの構えの上に立ってほしい。ただその絵に描いた餅では、先ほどの市民への不信感というものが出てくるわけですから、特に基軸となる道路については、きちっとやるというような、肝っ玉すえてやって頂かないかないと。しかも時間がかかります、1年や2年じゃなくて。ですからせっかく素晴らしい座架依橋ができて、それがどういう感じで繋がっていくのかと皆、地場の方は関心があるし、心配もあります。だから、やりとげるといふ事をしていけないと。これは当然国だとか県だとか絡む問題になりますけど、まずそういう心構えで、場合によっては市民の皆さんを良い意味で抱き込んで、一緒にやっていくんだと、行政だけの力ではとても出来ないはずだから、そのようなところが非常に大事なところじゃないかと、そういうところが今まで不足していたのではないかと思います。

あわせまして、圏央道（さがみ縦貫道）というのでしょうか、これがこの間、東名とつながりましたけれども、あと4、5年もすれば縦貫道、貫通するでしょう。たまたま、座間市にそ

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	5/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

の道路がない、けれどもちょうど座架依橋と新相模大橋との中間辺りにインターチェンジが出来るわけです。そうすると、この新田宿、四ツ谷、座間などの地区への交通の変化が出てくるのではないかと。そこで、私は率直に言って、行政の、座間市行政の怠慢ではないかと実は思っている。ということは、今言ったようなインターチェンジが出来た時に、交通アクセスなどがどうなっているかとか、当然座間市としても検討を加え具体的にこうするという。おそらく、海老名の北部の方々、座間市の人、それから大和の方、場合によっては相模原の方々も座架依橋渡って、そのインターチェンジを利用して、その縦貫道に乗るという事は当然ありうる話です。では今の交通道路網、道路状況で良いのでしょうか。ですから、この縦貫道が出来てインターチェンジがここに出来るというのが判っているとすれば、座間の区域だけ道路が走らなくとも、道路というのは当然考えていかなければいけない問題です。今でさえも、この地域、朝の通勤ラッシュは大変な状況です。ですから、そういう面で、自分の所は通らないからいいやではなくて、県や国に必要なに応じてアプローチをして、必要によっては市民の皆様の協力得てやっていかなければ、後の祭りになってしまう。

そういう心配がありますので、敢えて申し上げておきたいと思います。そういう意味では、ぜひこの総合計画を遂行していく上において、行政の幹部の皆さん、あるいはそれにつながる皆さんに申し上げたい事は、机上論だけじゃなく、現場に出る、現場に出て、事実を掴んで頂いて行政のいろいろな計画を履行していく、そういう現場に足で出向いて、現場を知って頂いて、そして市民としっかりと協働のまちづくりじゃないけど、協働でやっていく、そういう姿勢でぜひ臨んで頂きたいと。ちょっと長くなり申し訳ないけれども、以上です。

【市役所】

都市部長の和田と申します。よろしくお願いたします。最初に西部開発がどうかということですが、ただいま22年度までの3次総合計画の中には西部地域整備構想ということで、しっかりと謳われております。それが約20年を越し、現実ほとんど進んでいない状況がたしかにございます。そういうものの3次総合計画の総括を、私共としても、しっかりした中で、出来るもの出来ないものを、今のままでそのままいく事が出来るわけないと思っております。現状、必要なもの、出来るもの、そういうものをしっかり見直した中で、この4次総合計画の中に反映させるべく、検討させていただいているところでございます。

それから、道路の関係で、まず総合交通計画の方もパブコメをしっかりと見て頂いて意見を出そうかと思ったということで大変ありがたく思っております。一ヶ月が昨日、ちょうど終わりました、ご意見を頂いたところで、今そここのところを集約しているところでございます。幹線道路のお話、そして、圏央道が新しく出来てインターが出来る、そういうことで交通のアクセスが変わる、こちらの話、セットの話になろうかと思っております。幹線道路につきましては、私共も道路の脆弱性、これは座間市の欠点であるという事は十分に認識しているところでございます。東西の幹線道路、南北の幹線道路、これは他市と比べて非常に遅れている、そういう私も同じ認識のもとに立っておりまして、そういう部分をこの第4次総合計画の中でもまた、都市マスタープランの中でも、そして総合交通計画の中でも、しっかり踏まえたなかで現在検討を

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	6/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

行っているところでございまして、この圏央道の関係の交通のアクセスが変わる、こちらは座間市の総合交通計画の中で、やはり圏央道の海老名インターが出来る、そして厚木インターが出来る、また東名の綾瀬のインターチェンジが出来る、そういう関係での将来の交通需要アクセスの交通量推計をしたなかで、やはりそこで出てくるのが幹線道路の必要性になってまいります。そういうものをしっかり検討したなかで座間市総合交通計画を現在作っているところでございますので、ご理解いただきたいと思っております。

【市役所】

企画財政部長の宮代です。よろしく申し上げます。私の方には、財政の基盤ということでご心配いただきました。まずご心配につきまして、大変ありがとうございます。まず座間市の財政という事で、まずこの新聞記事のような財政状況の事でお示しいたしましたが、実は今回の総合計画の中の、ひとつの力点に、計画と予算が連動するという視点を盛り込み今回策定を考えています。いくら良い計画を作っても、それを施行するだけの予算がなければ何なりません。そのことにつきましては、これから総合計画のもと、実施計画というものを、これは具体的な施策となりますけれども、予定しております。その中で、この財政的裏づけをつけて対応していきたいと考えております。

とはいえ、いくらでも財源があるわけではございません、ということで、やはり財源の有効活用を図らなければなりませんから、それはこの事業についても選択と集中という中で、重点的な事業を絞って、この10年間でやるようなかたちになるだろうとおもいます。当面はこの4年間で2年ごとのローリングというなかで進めさせて頂きたいと思っておりますし、その中で重点項目を定めて対応してまいりたいと思っております。したがって、この財政基盤の強化というのは非常に難しいですが、やはり厳しいとはいえ、貴重な市民の皆様の税金が主になっておりますから、その辺も充分財政計画を立てたなかで、進めさせて頂きたいと考えております。

それから、ひとつ明るいニュースとして、実は商・工・農の関係の話がありました。特に工業関係では、自動車関連の作業で一部明るい兆しが出て、これは当然市税の方の固定資産税等も今年度の予算に反映をさせて頂きましたけれども、一定の伸びをみる事が出来ますので、これにつきましては引き続き企業の誘致という観点からも含めて、是非明るいニュースについては、このまま進めさせて頂きたいと思っております。以上です。

【市役所】

小俣でございます。今、総じておっしゃって頂いておりますのは、不安がないかとかということ、計画は立てたはいいけれども、こういう時代ですから国の政策で大きく変わる場合もあります。したがって、そういった経過説明を住民にしていけというごもっともなお話です。先ほど来説明していますように、前の第3次計画というのは20年のスパンでやります、今20年といえは相当社会が変化する、こういう事でありますから、今回お知らせしていますように、10年計画に短く、これでも、まだ、大きく変化する、したがって今企画財政部長が申し上げたとおり、それを更に細かく割って、実施計画を作っていく、そして実施計画を作ったけれども、

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	7/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

大きな変化があった場合実施出来ない、あるいは変えていかなければいけない、そんな場合がありますから2年ごとにローリングをしていく、このような施策をとっております。

そのことが机上論でなくて、現場に出ていってよく現場を知る、そして市民の皆さんと直接お話をし、これは協働ではないかという事で、ごもっともな事でございます。したがって、そういう姿勢で、貴重なご意見を頂きましたのでおおいに参考にさせて頂き、間違いの無いように進んでいきたいと思っております。

【司会】

ありがとうございました。質問時間が過ぎておりますが、最後にご質問の方は宜しくお願ひしたいと思います。

【質問者】

〇〇と申します。これから10年計画でやっていくでしょうけれど、意外と座間の入札とかは市内業者優先というのが無く、せっかく県とか国とかから座間が予算貰っていて、それをみんな相模原だ、大和だと隣の市外の業者が持っていってしまう。他の市町村はどうかといえば、市内業者優先ということで座間の人が入札しようと思っても出来ないという現状でありますので、これから10年計画でこういう事をやっていくのであれば、やはり市内業者優先ですとか、座間の業者をもっと育てるところに力を入れていかないと、座間には支店とか営業所を作る必要が無いのだと他の市町村から聞きますので、やはり企業誘致などを含めて、もっとも市内業者優先などを進めていってほしいと思います。昔みたいに談合など出来ないから、そういう心配も無くなってきているので、是非、市内業者優先というのを、座間もやって頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

【司会】

はい、ありがとうございました。

【市役所】

はい、ありがとうございました。ご意見として承っておきます。

それからさきほど言い忘れましたが、この2ページの所に年齢別の表がありまして、黙っているとこのようになりますから、やっぱり魅力ある都市作りということで、若い人に入って来て頂くと。この計画終わる時には(高齢化率が)26.2%ということで、右側の茶色い所がこんなに増えていってしまう。今22年ですから、下の3本がこの10年でこんなに変化してしまう、こういう推計になっています。ですから、先ほどお話聞きましたように、産業の振興そういったことによって企業が一生懸命元気になってくれれば、雇用の面でも増えていって、若い人がどんどん入ってきてくれるし。ですから、これが(高齢者人口の比率が)当然短くなっていくということで、真ん中の黒い所が増えていく。こういうことを期待しているわけですが、その変化も出てくると思われます。いずれにいたしましても、やはり活力を生むためには生産年齢人

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	8/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

口が増えていかないといけないという事です。人口についても、折れ線グラフでちょっと下がったような状況になっていますけれど、これも今のままでいくとそういう状況になる、こういうグラフでございますので、皆さんから頂いた活力のあるお話を糧にして努力をしていく、こういうことになると思います。

今の入札の関係通知はご意見として頂きます。ありがとうございます。

【司会】

はい、ありがとうございました。まだまだ市民の方から貴重な意見を承りたいところですが、時間の関係がありますので、最後に今までのご意見を踏まえながら、最後のまとめを遠藤座間市長からお願いします。

5. 市長による総括

【市長】

いろいろな方、貴重なご意見を頂戴いたしました。ありがとうございました。

冒頭の話で申し上げましたとおり、今日はこの次期総合計画の基本構想につきまして、本当に多様な意見集約をさせて頂いたうえで、基本構想についての概要案をお示したところでございます。この百数十ページに及ぶ、こちらの方にはさらに細かく記述をしておりますが、今頂いたようなお考え等を等しく市民の皆様お持ちでいらっしゃるわけですし、この点についてはあらためて、この計画策定にあたって、私ども非常に強い使命感を感じているわけでございます。

今、副市長からも話ございましたように、少子高齢化社会の進展の中で、座間市の人口もどうやらピークを迎えてこれから減少になっていくことが統計的には言われております。そうした中で、一方においては、17.58平方キロメートルの座間市域の中での、いわゆる市街化区域についての都市的な土地利用が92%を越えるということで、市街化区域の中における自然的な土地利用が8%ということで、ほぼ開発については成熟をしてくれている状況にあるといえます。あらゆる面で成熟をしてくれている都市において、総合計画のありかたというものを考えると、やはりハードウェアとソフトの部分、すなわちそこに住まわれている人、そのお互いのつながりの中での要素を有機的に結びつけながら、更に魅力のあるまちにしていくという事が必要となるわけで、そういった点を十分に考慮に入れながら具体的な施策についての記述をしていきたいと思っております。

当然、この計画の実現に向けては財源の問題が、ご指摘のとおりあります。この財源の問題についても、一地方公共団体単独の課題ではなく、国、県との関係、国がどのような施策をこれから示されるのか、また国と地方との関係が今後どうなっていくのか。現在、政権交代がなされたなかで、地方分権、更には地域主権という言葉が盛んに使われているわけでございますけれども、現在私共が実際施行している事業、一般会計の予算で、たとえば平成21年度当初予算312億円という規模になりますけれども、そのうち占める私共の自主財源というものは3分の2という状況で、残りの3分の1については、これは国からの仕事について私共が事務事

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	9/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

業を実行しているということになります。具体的に考えれば、生活保護の関係ですとか、更には直近で一番目新しいところであれば、先程申しあげました子ども手当の支給金といったものも新たな施策として、私共地域に課せられていくという事も出てくるわけでございます。こうしたなかで私共が行政単独で、座間市の為に、座間市の今後の為にという事で施行していく計画事業、それから国・県と協調の中で執り行っていかなければいけないという事務的事业、こうしたものについて時々刻々変化するため、これもしっかり捉えながら、今、副市長が申し上げましたように、臨機応変に対応できるようなかたちを、しっかりと作っていきたいと思っております。

10年計画、5年間を目途に、この基本構想についての見直すべき点は見直しをしていく、さらには、それに基づいて具体的に定める実施計画についても、計画期間4ヵ年として2年ごとのローリングをしていく、この改定をしていくという事を、これを当初から想定をしているわけでございますし、今、振り返ってみても、10年前と今を比べても、10年前の2000年当時に、この2010年がこのようになってきたということを経験したと考えると、今後の10年間は更に大きな変化があるかと思うわけです。

そんな中で、今回のこの総合計画の策定に向けての市民の皆さんからの多様な意見の集約と言う中での合意形成をはかっていく手法については、更にこれから限られた資産を有効活用しながら市民の安全安心を確保しつつ、お互いに納得してまちづくりをしていくという面で一番必要になる手法になると、私は考えておりますので、そうした部分について、今後もしっかりと一つひとつ取り組みを進めながら、まとめをしていきたいと思っております。

また、この新田宿四ツ谷地区の皆さん、座間地区の皆さんもいらっしゃいますけれども、先程ありました西部地区の開発について、大変な関心をお持ちではないかと思っております。こうした点も、また道路の関係等のお話もございましたけれども、都市基盤整備、目に見える部分でのありかたというもの、ある面では一番判りやすい部分ではありますが、いろいろなかたちで情報提供させて頂きながら、また市民の皆さんの意見を吸収させて頂きながら、あるべき姿に導いてまいりたいと思っておりますので、宜しくお願ひしたいと思っております。

それから、これは他の地域、団体別の懇談会でもご指摘を頂いた部分でございますけれども、私共座間市単独で行うのではなく、広域の連携のなかで行うことによりメリットが出てくる、また費用対効果の部分でそれの方が良いというような施策もあるわけでございます。現状、行っている中では、例えば清掃の関係、これは海老名市に3市共同で設置している、この清掃プラントがあるわけでございますし、あとは斎場の関係については4市で行っている。更には、医療の関係については、これは国の施策にもあるわけでございますが、やはり広域連携の中での1次救急、2次救急、こうしたものへの対応、医療資源の他市にまたがる部分での共有化という部分、更には消防広域化の関係、それから今後政権交代の中でどういうふうに変化していくか判りませんが、高齢化社会に対応しての後期高齢者の医療に関して。これは広域連携の中で行っておるわけですが、こうしたような単独の市の事業という事ではなく、広域の連携の中で解決していくべき課題というものも多々あるかと思っております。こうしたものはやはり時代に即した中で周囲との連携をとりながら取り組んでいく必要があるため、この辺りについ

件名	第2回地域別懇談会【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	10/10
日時	平成22年3月18日(木) 19:00~21:00	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

でも私共の計画の中に、時々刻々変化するべきものも含めて、対応を織り込んでまいりたいと思います。

以上、ここまで本日概要のご説明ということで、これまで大きな流れについてお掴みを頂きたいということでご報告を申し上げましたが、くどいようですが、具体について4月1日からパブリックコメントを実施いたします。どうかまた、忌憚の無い、そして今後に向けて真剣な議論、ご意見の提示を賜れば幸いです。

どうか、今後とも私共座間市の行政として、しっかりとこれについて真剣に取り組んでまいることをお約束いたしまして、今日のこの地域別懇談会にお忙しい中、お越し頂いたことについてのお礼をかねてのまとめの挨拶とさせていただきます。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

【司会】

では以上をもちまして本日予定をしておりました、第2回の地域別懇談会は終了させていただきます。本日は貴重なコメント、ご意見を頂きまして誠にありがとうございました。これをもって第2回の地域懇談会を閉めさせていただきます。ありがとうございました。